



市政の課題

将来の展望を

質す

青少年の健全な育成に関する 条例について

釣 昭彦 議員



問 青少年の健全な育成について、市の教育委員会を含んだ関係団体では、協議会、研究会を開催され、青少年の非行等の減少に日々努力をされているが、心配される事が、量販店のゲームコーナーでの「青少年のたまり」。

現在の利用の制限での申し合わせ事項では法的規制が無い為に、育成センター委員等の巡回者やゲームコーナー担当者が帰宅を促し、注意を行っている。青少年保護の為に青少年の健全な育成に関する条例を制定してはどうか。

答 当市のゲームコーナーは法的な規制の対象にならず、青少年育成センターや青少年育成推進委員、防犯委員、



子どもの健やかな成長はみんなの願い

警察、学校職員などによる巡回指導と、家庭への協力依頼により対応している。巡回指導については、以前から継続しており、一定の効果をあげていると認識しているが、声かけを無視する、移動した後に戻ってくる、また、別の場所で集合するといった子どもたちもいることは事実である。

今後は、課題を抱えた子どもたちには、これまで以上に粘り強く声をかけ続け、少しでも関わりを深めていきながら、自分の新たな居場所づく

りに向けた自立への支援を、継続して取り組みたい。

また、健全育成条例の制定については、規制をかける範囲、時間、年齢の問題や店舗側、保護者の協力の程度の問題など、多くの課題があり、さらに対象が特定の個人やグループであるために、他の子どもや保護者の健全な遊びが制限されるという問題も予測されることから、難しいと考

える。

その他の質問事項
●進まない河川・水路・農業用水路の清掃について

市民病院へPET-CT ダヴィンチ導入の考えはないか？

竹内友江 議員



問 市民病院は移転後15年が過ぎ、救急・健診部門の整備、人工透析室の拡充等、が喫緊の課題である。地域中核病院として、PET-CTの導入や内視鏡・超音波センターの整備、リハビリ室拡張等、患者様にも職員にも利便性の高いものを目指すとして第2次改

革プランに明記している。

医療の世界は日進月歩、高度医療機器PET-CT、医療支援ロボット「ダヴィンチ」

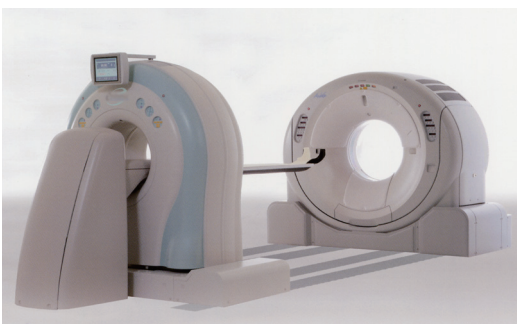
が必要ではないか。西播磨の中核病院として先端医療を充実させ市民の安心な医療を目指すすべきではないか。

答 現在、赤穂市民病院を取り巻く医療環境に即した医療機能のあり方と方向性、加えて建物等の整備内容や高度医療機器整備の方向性を定めた基本構想の策定に取り組んでいるところであり、その中

や大きさ、状態の把握が可能で、患者様の負担が少ない「PET-CT」や、手術時における出血量を極端に抑え、術後の疼痛を軽減し、合併症リスクの大幅な回避などに優れている「ダヴィンチ」の導入を検討している。

しかしながら、どちらの医療機器も、導入コストが高いばかりでなく、その維持管理費用も高額であるところから、運用する上で採算性においても十分な検討が必要であると考えており、10月末を目途に基本構想を策定し、内容を詳細に検討した上で議会に報告したい。

その他の質問事項
●トイレの改善について



PET-CT (参考画像)